



# 家畜保健衛生所だより

R7.11.4

## 台湾で初めてのアフリカ豚熱発生！

10月21日、台湾の台中市の養豚場で国内初となるアフリカ豚熱(ASF)が発生しました。

疫学分析により、食品残さ由来と強く疑われたことから、台湾全土において飼料としての食品残さの使用が全面禁止となりました。

### 【発生農場の概要】

発生農場所在地…台湾 台中市梧棲区

飼養頭数…約300頭

10月22日～移動制限と予防的殺処分の実施。全国的に豚の移動制限及びと殺禁止(5日間)と疫学調査の開始。



ASFとは

ASFは、豚とイノシシに感染する、極めて致死率の高い疾病です。

豚熱(CSF)と名前や症状は似ていますが全く別のウイルスを原因とする感染症です。ASFウイルスは感染力が高く、環境中での耐性が非常に強いウイルスです。加熱していない肉製品を絶対に豚やいのししに与えない、野外に捨てないことが重要です。

中国ではASFの発生により国内の飼育豚の約4割が減少したといわれています。ASFには有効なワクチンや治療法はありません。また、国内では予防的殺処分が認められており、発生農場だけでなく周囲の農場も殺処分の対象となる可能性があります。

今回の台湾での発生事例により、東アジアでは日本を除くすべての国でASFの発生が認められました。日本国内へのASFの侵入リスクが極めて高い状況です。農場の衛生対策の再検討をお願いします！

異状(発熱、食欲不振、うずくまり、チアノーゼや出血病変等)や死亡豚の増加がみられたら直ちに下記まで通報をお願いします！

中予家畜保健衛生所

電話 089-990-1333

携帯 090-6282-6129 (夜間・休日)